

照月院の方 (六卷)

帝キネ小阪映畫

原作者  
監督者

河合 薫氏  
山下 一氏  
堀越 成治氏

主要役割

照月院の方	千草 香子嬢
侍女 楓	小阪 照子嬢
同 吉野	泉 清子嬢
和音 千	嵐 寛十郎氏
福原丈左衛門	市川 荒十郎氏
青山駿河守	林 誠太郎氏
水木秀之丞	小島 誠太郎氏
春駒三郎	尾上 紋三郎氏

〔略筋省略〕

乱闘劇も愈々種がつきたと見えて近頃では川田芳子の「裏切られ者」や本篇の様、女乱闘劇が現はれたのは笑止千万である。この物語は時を利用して天草の落人を救ひ此ふのを發端として各地と戀とに途し身破滅を來すと云筋で照月院の方自ら男装して捕方相手に大乱闘を演じると云ふ勇壯極りなき映畫である。山下秀一氏の監督は乱闘以外に狙つて居る色慾の世界を一寸匂はせて居る點は面白いがそれけ至つ薄弱だから出版物に於ける伏字より更に興味がうすいものになつて居る。千種香子嬢の照月院の方は上品さが足りなくて「武家義理物語」に於ける定家大夫程適役ではないが前記の乱闘以外の狙ひ所がもつ鮮明であつたらしく榮えたてであらう。尾上紋十郎氏の喜三郎や小島陽三氏の秀之丞は役どころである。

山本 綠葉

興行價値——伏線は一般の客に解らなく共女乱闘劇で相當受けるであらう。(五月廿日、大阪青森劇場、いろは座、神戸相生座封切)